

○事業所名	発達療育レンテ市川		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	保護者数28名 (児童数32名)	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

(1) 評価の内容

① 保護者による評価

環境・体制整備

4つの設問いずれも、14名中12名以上で「はい」の回答だったため、概ね評価いただけている。
 その上で、以下のようなご意見があった。
 ・部屋によっては陽光があまり入らず暗い。
 ・トイレの匂いが気になる。
 ・構造化された環境になっているかの設問に対し、備品・遊具の配置、階段、字が読めないお子さんへの対応へのご意見。

適切な支援の提供

支援の専門性や個別支援計画の充実度に関する設問は全て「はい」と回答されており、以下のようなご意見をいただいた。
 ・アセスメントが的確かつ専門性が高く、保護者にもわかりやすい
 ・スモールステップで困りごとを解決してくれる
 ・他にないほど、個別具体的な支援計画を作成してくれている
 ・ペアレントトレーニングについては、より効果を具体的に説明してほしい
 ・保護者間で交流する機会があるとよい

保護者への説明等

・11設問中、9つの設問で12名以上「はい」の回答をいただけている。
 ・支援計画の説明や日常のお子様の状況の共有や助言については概ねよい評価だった。
 ・家族支援の取り組みに対して、改善してほしい点のご意見が寄せられた。
 ・集団療育の際はフィードバックがないことに対して、フィードバックをご希望する意見が寄せられた。

非常時等の対応

・概ね「はい」の回答が得られ、良い評価をいただいた。

満足度

3つの設問に対し、ほぼすべての利用者が「はい」と回答しており、以下のようなご意見をいただいた。
 ・子供が通所をとても楽しみにしている。
 ・レンテの支援によって、子供との接し方や成長の促し方のポイントがわかり、ありがたく思っている。

② 職員による評価

環境・体制整備

・概ね「はい」と回答している。
 ・生活空間の快適さについては、お子さん用の洗面台の設置等、改善している点が挙げられた。
 ・一方で、施設全体の老朽化やそれに伴う悪臭、面談スペース確保について等の問題も挙げられた。

業務改善

・5つの設問中4つの設問で11名中9名以上「はい」に回答しており、保護者の意向を把握し、業務改善に努めている様子がうかがえた。
 ・一方で、職員の意見が業務改善につながっているかや、第三者による評価を業務改善につなげているかは意見が分かれた。

適切な支援の提供

- ・概ね「はい」と回答しており、以下のような意見が挙げられた。
- ・お子様へのアセスメントや保護者様のニーズに基づいて、最善の支援計画を作成している。
- ・応用行動分析に基づき、常にお子様の状況を確認、共有している。
- ・職員間でケースミーティングを開き、各職員の意見を反映して支援計画を決定している。

関係機関や保護者との連携

- ・概ね「はい」に回答しており、関係機関との連携については概ね評価している。
- ・特に保護者との連携の設問は、職員全員が「はい」に回答しており丁寧な連携を心がけている。
- ・地域の児童発達支援センター等との交流については、「いいえ」の回答が多かった。

保護者等への説明等

- 概ね「はい」に回答しており、以下のような意見が挙げられた。
- ・毎回フィードバックの時間を設け、お子様の状況や困りごとを確認するほか、月に1度スーパーバイザーの面談も実施している。
- ・保護者からクレームがあった際は、発覚した時点で管理者からの謝罪や全体周知を行うなど、対応を徹底している。

非常時等の対応

- 概ね「はい」に回答しており、以下のような意見が挙げられた。
- ・ヒヤリハットについては、些細な事案でも報告し、職員間で共有する体制が整っている。
- ・職員間の知識や認識に齟齬があることが発覚した場合は、全体で研修機会を設けている。

④ 評価内容まとめ

全体的な意見

- ・保護者側からアセスメントや支援計画の専門性と質を評価していただき、職員も応用行動分析に基づいた支援に努めている。
- ・職員は日頃からお子様の状態について保護者との丁寧な情報共有と連携を心がけており、保護者側からも評価されている。

今後の改善に向けた意見

- ・保護者側および職員側：施設の老朽化に関する意見があった。
- ・保護者側より：ペアレントトレーニングの効果についてより明確に説明してほしい、保護者同士の交流の機会を設けてほしい等の意見があった。

(2) 分析結果

① 事業所の強み

応用行動分析に基づき、客観的なアセスメントや一人ひとりにあった支援計画を策定し、日々の支援に取り組んでいる。職員はお子様の状態を適切にアセスメントするとともに、保護者と積極的にコミュニケーションを取りつつ、職員間で連携することによって、日頃のお子様の状態の把握に努めている。また、アセスメントや支援計画・日々の支援内容について、丁寧な説明を心がけている。

② 改善点

- ・待合スペースの運用方法について
- ・施設的环境整備(老朽化対策、バリアフリー対策等)
- ・ペアレントトレーニングの実施方法と効果の説明について

(3) 事業所の改善への取り組み

- ・空いている部屋がある場合は面談に使ったり待合スペースとして開放し、保護者の方が待機できるような環境を整える。
- ・テナントオーナーや本社総務とも連携しながら、施設の整備・美化に努める。
- ・ペアレントトレーニングの実施方法や記録・説明方法を工夫し、保護者の方にご理解いただけるよう努める。
- ・集団療育のフィードバックをSV時に実施し、保護者の方に様子を伝える。

(4) 事業所としての所感

ご多忙のところ、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。
お子様が楽しく通所いただいているとお声を多くいただき、また、支援計画などの専門性や、
日頃の保護者様とのコミュニケーションに対して評価していただけたことは、職員一同大変励みになりました。
今後、より一層保護者の皆様から信頼していただけるよう、事業所の運営体制を強化し、職員一人ひとりが
スキルアップに努めてまいります。

引き続き、保護者の方々と共にお子様の成長を支えていけるよう取り組んでまいりますので、
どうぞよろしくお願い申し上げます。